# **2010年度** (2009年11月~2010年10月)

# 環境活動レポート

— 未来の夢を技術と誠心で築く —



# 目 次

会社概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
対象範囲及びレポートの対象期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
環境方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
環境負荷の把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
環境目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
環境活動計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
環境目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
環境活動の取組結果と評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
環境関連法規への違反・訴訟等の有無 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
今年度の考察および来年度の課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
代表者によるコメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7

## 会社概要

会社名 代表者名 大建住宅株式会社 代表取締役 大岡信夫

所在地 電話番号 FAX番号 E-mailアドレス ホームページアドレス

香川県丸亀市郡家町1032番地の10877-28-79920877-28-8937daiken@daikenjutaku.co.jphttp://www.daikenjutaku.co.jp/

事業内容

建築工事業 [香川県知事(特-22)第740号]土木工事業 [香川県知事(般-22)第740号]不動産事業 [香川県知事(9)第2113号]一級建築士事務所 [香川県知事 第627号]

環境関連登録等

エコ・リーダーまるがめ登録 環境社会検定 (e c o 検定) 合格者 4名

設立 資本金 1970年(昭和45年)11月20日

2,000万円

社員数

11名 (2011年1月現在)

## 対象範囲及びレポートの対象期間

対象範囲

大建住宅株式会社

レポートの対象期間

2009年11月~2010年10月

## 環境方針

## 環境理念

我が社は、顧客ニーズに対応した建設業を営むにあたり、 地域の自然環境と共生した事業活動を行う。

## 行動指針

我が社は、事業活動を通して環境保全に取り組み、 環境共生社会の形成・実現に向けて下記の取り組みを行う。

- 一. 環境に配慮した住宅設計を推進する
- 一. 事業活動にともなう環境負荷の低減及び環境保全を推進する
- 一. 環境マネジメントシステムを推進する
- 一. 環境関連法規を遵守する
- 一. 環境コミュニケーションを推進する
- 一. 従業員の環境教育を行う

2010年4月1日 大建住宅株式会社 代表取締役 大岡信夫

## 環境負荷の把握









項目	単位	2009年度	2010年度
CO <sub>2</sub> 排出量	${\rm kgCO_2}$	48, 423	43, 340
			(89.5%)
電力使用量	k W h	29, 581	26, 276
			(88.8%)
ガソリン使用量	L	12, 159	10, 796
			(88.8%)
軽油使用量	L	1, 388	740
			(53.3%)
ガス使用量	kg	45	38
			(84.4%)
灯油使用量	L	0	656
			(-%)
廃棄物排出量	t	47. 2	15. 89
			(33.7%)
水道使用量	m <sup>3</sup>	138	131
			(94.9%)

() 内:前年比

※灯油は購入ベースから使用ベースに変更

## 環境目標

項目	単位	目標値			
块 口	中亚	2011年度	2012年度	2013年度	
CO <sub>2</sub> 排出量(※)	kg-CO <sub>2</sub>	42,050	40, 800	39, 600	
電力使用量(※)	k W h	25, 500	24, 800	24, 100	
ガソリン使用量(※)	L	10, 500	10, 200	9, 900	
軽油使用量(※)	L	720	700	680	
ガス使用量	kg	40	40	40	
灯油使用量	L	700	700	700	
廃棄物排出量(※)	t	15. 5	15	14.6	
水道使用量	m <sup>3</sup>	131	131	131	

※は前年比▲3%を目標数値としている

#### 環境活動計画

- 環境に配慮した住宅設計の総合的推進
  - キャスと、一建築評価員講習・試験
- 電力使用量削減
  - ・昼休み時の消灯及びエアコンの電源オフ
  - エアコンの温度設定(冷房28℃・暖房20℃)の徹底
- ↑ ガソリン・軽油の使用量削減
  - ・ 香川県主催のエコドライブ講習会へ参加(年1回)
  - ・ 朝礼時に「エコドライブ10のすすめ」の当月目標を呼びかける
  - ・「エコドライブ10のすすめ」を事務所及び車内に掲示
  - ・ 燃費計算によるデータを採取し、意識向上を呼びかける
- ★水道使用量の削減
  - 雨水利用
- ・廃棄物の分別・適正処理及び排出量の削減
  - ・ マニフェストの適正発行による分別・適正処理状況確認
  - ・ 各種廃棄物のリサイクル化による有効利用率向上
  - ・ 廃棄物の排出量(分類別・総量)のチェック
- 地域での環境普及活動
  - 建設業協会主催の清掃活動(年3回/各2名参加)
  - ・ 会社前の側溝清掃(年1回/全員参加)
- → 従業員への環境教育
  - ・ 環境方針カードの携帯
  - ・ 朝礼時に環境方針の唱和
  - ・ 事務所及び現場事務所に環境方針の掲示
  - ・ 各種技能講習への参加
  - 丸亀市主催の環境講演会(年2回/各2名参加)
  - エコ検定

## 環境目標の実績

75 P	単位	2009年度	2010年度			
項目		実績値	目標値	実績値	達成状況	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	48, 423	53, 100	43, 340	0	
(前年比)			<b>(</b> ▲2%)	(▲10%)	O	
電力使用量	k W h	29, 581	30, 600	26, 276	276	
(前年比)			<b>(</b> ▲2%)	(▲11%)	O	
ガソリン使用量	L	12, 159	13, 700	10, 796	0	
(前年比)			<b>(</b> ▲2%)	(▲11%)	O	
軽油使用量	L	1, 388	1, 290	740	0	
(前年比)			<b>(</b> ▲2%)	(▲47%)	O	
ガス使用量	k g	45	50	38	0	
(前年比)			(0%)	(▲16%)	0	
灯油使用量	L	0	300	656	<b>№</b> 1	
(前年比)			(0%)	(-)	<b>※</b> 1	
廃棄物排出量	t	251. 5	45	1433. 884	*2 ×	
(前年比)			<b>(</b> ▲2%)	(570%)	%	
水道使用量	m <sup>3</sup>	138	177	131	0	
(前年比)			(0%)	(▲5%)		

<sup>※1</sup> 灯油使用量の2009年度の数値が「0」になっているのは、当社では購入量にて把握をしているが、2009年度は前年残量を使用したのみで購入していない為。

<sup>※2</sup> 廃棄物排出量は、事務所と建設現場の発生分の合計になっている。

## 環境活動の取組結果と評価

取	取組結果	評価		
環境に配慮した キャスビー建築評価員講習・試験			試験日が決まっており、	
住宅設計の総合的推進			来期受験予定	
電力使用量削減	昼休み時の消灯及びエアコンの電源オフ	0	実行し、電気使用量を削減できた	
	エアコンの温度設定(冷房28℃・暖房20℃)の徹底	0	実行し、電気使用量を削減できた	
ガソリン・軽油の使用量削減	香川県主催のエコドライブ講習会へ参加(年1回)	0	1名参加できた	
	朝礼時に「エコドライブ10のすすめ」の		実行できた	
	当月目標を呼びかける	0		
	「エコドライブ10のすすめ」を	0	中にでもた	
	事務所及び車内に掲示		実行できた	
	燃費計算によるデータを採取し、		中 行 べ も と	
	意識向上を呼びかける	0	実行できた	
廃棄物排出量の削減	マニフェストの適正発行による		#7	
	分別・適正処理状況確認	0	実行できた	
	各種廃棄物のリサイクル化による有効利用率向上	0	実行できた	
	廃棄物の排出量(分類別・総量)のチェック	0	実行できた	
地域での環境普及活動	建設業協会主催の清掃活動(年3回/各2名参加)	0	実行できた	
	会社前の側溝清掃(年1回/全員参加)	0	実行できた	
従業員への環境教育	環境方針カードの携帯	0	実行できた	
	朝礼時に環境方針の唱和	0	実行できた	
	事務所及び現場事務所に環境方針の掲示	0	実行できた	
各種技能講習への参加		×	できなかった	
	丸亀市主催の環境講演会(年2回/各2名参加)	Δ	各1名参加できた	

#### 会社前の側溝清掃活動







#### 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

大建住宅株式会社の事業活動において、環境法規に対する違反や訴訟はありませんでした。 外部からの指摘・苦情もありませんでした。

## 今年度の考察および来年度の課題

エコアクション21の認証を取得した本年度は、2009年度に比較し▲3%の目標を掲げた 活動計画を立て、各種の取組みを行った。その結果、CO2排出量10%の減少を達成した。

ガソリン使用量においては、11%削減することができ、当初の目標を達成したと思われる。 また、電力量においても、目標値の3倍以上である11%削減することができた。これらは、 事業活動全体の減少による影響も大きいと考えられるが、エコアクション21のシステムを導 入することで数値として認識できた意義は大変大きいものである。

2011年度も引き続き、CO2排出量を前年比▲ 3 %に設定し、当社の事業活動そのものである 環境に配慮した住宅設計を推進し、環境教育、環境保全を重視した事業活動をしていく考えで ある。

## 代表者によるコメント

環境への取組みの自己チェックを行い、当社として取組む点を明確にし、具体的な目標を立てて行動を起こすことで、結果的に数値としてCO2の削減ができた点が非常に大きかったと思う。そして、これらのPDCAサイクルを当社として常に回転させることで、当社が環境対応の会社であるとの認識を持つことが大切であると考える。

次年度以降も環境に配慮した住宅設計をさらに推進すべく、省エネ型の設備機器や環境対応商品の最新情報を取得し、お客様に提案し、エコ住宅や環境と共生した住宅の建設を増やしていく方針である。

最後に、エコアクション21の認証を取得することで当社に集う社員1人1人の環境に対する意識がさらに向上し、家庭や地域での諸活動にも広がることを期待するものである。